

とある

飯尾の

18

禁

指  
定



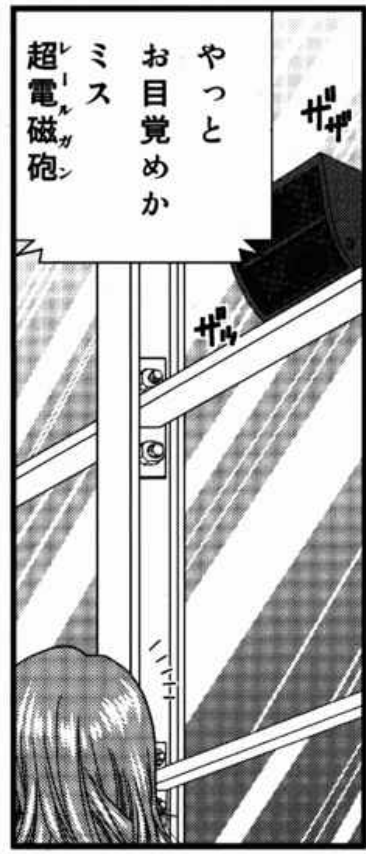
ADULT ONLY





なっ…なに!!  
なんなの

実験だよ  
レールガン



やっと  
お目覚めか  
ミス  
超電磁砲



ワッ

実験!!

ワッ

んっ…  
なっ…!!



お前らのような  
危険なバケモノを  
飼育しているのだ

それを制御する  
ための実験は  
常に行って  
いけないとねえ



嫌<sup>や</sup>あああ  
あつ!!

特<sup>ノソキベヤ</sup>殊監房

飯尾鉄明





これはお前  
専用の牢だよ  
どこぞのアメコミの  
磁石くんのように  
半永久的に  
拘束可能なのだ

その素材は  
そんな事より  
なんなの  
こいつらはっ!!



なんなのよ  
これは!!



その方たちは  
スポンサーだよ

おっ  
ちのこ



人が気分良く  
解説して  
やってる時に

だから  
低脳のがきは…  
…まあいい



どういうわけか  
お前は  
そこらのアイドルより  
人気があつてなあ

好都合  
ではあるが





えっ?!



牟だと言ったろ  
なにか出来ると  
思っているのか

この中では  
お前も非力な  
JCということだ



ガツハハハハツ  
ざまあゝみろ

ふあゝかああ  
小娘ええ!!



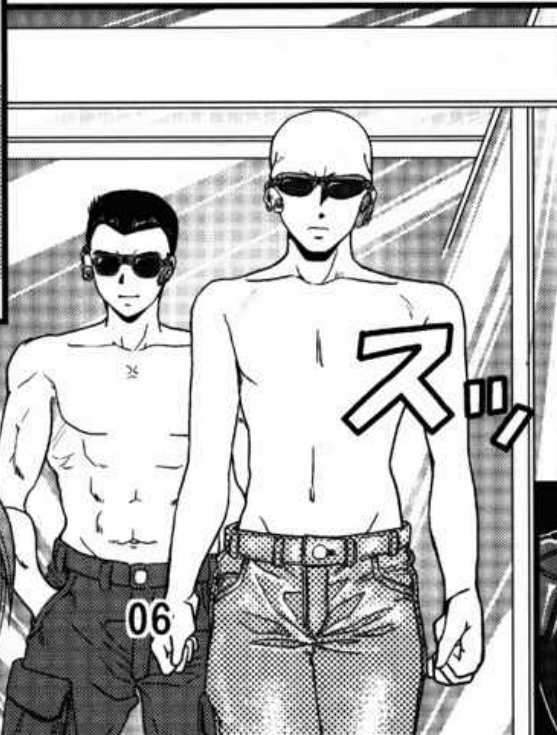
冗談じゃない!!

スハッ

ふぎけんじやないわよ!!



スポンサーが  
用意してくれた  
お前の  
相手だよ



スッ

それではゲストに  
入っていただけよう







キヤああアア!!



まずはひん剥いて  
あげなさい…

なるべく  
乱暴に

ちゅふ



はい…



きやあー!!



おお…  
これは





見るなあー!!

いやあああ  
何してんのよっ!!



おおお  
少女のワレメだ

うおおお!!

アマッ



いたいっ  
痛いっ!!

やだあゝ  
放してえ

ガッ



おい  
見えんぞ

はい...





暴れんじやねえ

観念しやがれ

ちから  
どうにも  
…ならない



ほら…みんなに  
見てもらえ

いやよ…放して  
放せて言って

くちゅ



やだあゝ  
放してえ

痛い  
イタイ





いやあああ  
もうやめてっ  
痛くしないで



なにをしている  
もっと…もっとだ  
もっと辱めろ

理不尽にも感情によって  
能力が向上する  
やからがいるそこまで  
もっていかずに何の実験か



必ず  
どこかに  
突破口が



なら少しは  
言うことを  
聞くもんだぜ

まずはそのカワイイ口で  
しゃぶる事からやろうか





我慢してれば  
調子に乗って…  
今にみてなさい

チャンスは  
…くる



もっと大胆にしねえと  
いつまでも終わんねえぞ



身体力が  
抜けてくつ…



とはいえ…  
このままじゃ



うっ…ウッ  
…痛く…  
…しないって



お前が硬くしたんだ  
…責任とれよ

痛く……?  
気持ちよく  
するんだよ



ゲホッ…  
ゲハッ

おお…  
良い硬さになった  
んじゃあ  
ぶち込んでやるおか



やっ…  
…やめて

お願い…  
…それだけは



残あゝ念  
もう制御  
きかねえよ

イヤよ…それだけは  
お願い…やめて…

もっと舐めるから  
…もっと…  
上手にする…から

あ  
あああああ〜あ  
!!



あらあら…  
鼻を垂らして  
みっともない



なにも  
出ない





何がレベル5よ  
何がナンバー3よ  
何が常盤台のEースよ

肝心な時に  
何も出来ない

じゅわん  
じゅわん  
じゅわん



カミジヨウ  
トウマ  
私…

汚され  
…ちやっただよ





おお調子出て  
来たじゃねえか

レイプってのは  
こうでなくちゃ

ズ  
ズ  
ズ



うああ〜ん  
こんなのやだあー!!

ぬいてえええ〜!!

ぬ  
ま  
ゆ

うああ  
あああん



いやや〜ああ〜ん  
もう…いやあ〜!!

嫌だ…お願い  
動かさないでえ!!



やめて下さい  
やっ…あっ…  
もう…やめて  
おねがいっっ!!

きたないいい  
…イヤ—!!

やめてよ  
やだああ!!

ふううん  
はあ…ハア

やっやっやっ  
…ん~~~~っ!!

んっ…んっ  
やだっ…ヒドイ  
これれちゃううう  
非道すぎるう

ちゅにゅにゅ  
わっ



やっ…ダメ  
抜いて  
はやく…はやく

でてるっ  
やあ!!



うっ!!

ひん

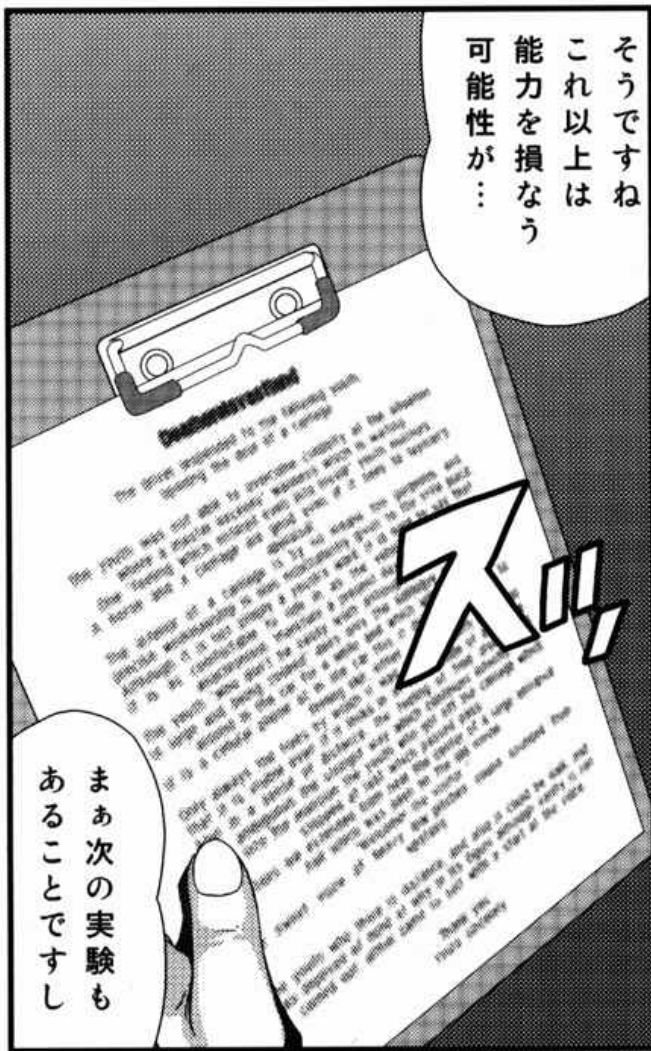


いやああああ

もう出さないでえええええ

赤ちゃんできちやうやうやうやう!!!

ゆき





**A Certain  
lios  
Ero Manga**

**Index**



**nozokibeya**  
..... 03

**copy girl**  
..... 20

**anthesis**  
..... 29

**Railroad of Tokiwadai**  
 birthplace tasty

**special price**

two hours	50,000
twenty-four hours	150,000
one week	1,000,000
and forever	100,000,000

コピーガール  
**複製少女**

いとお つつみ



『あの!!常盤台のレールガンが抱ける』という噂がアングラでひっそりと流れていた。噂によると、どうも本人ではないようなのだが、全く区別のつかない本物らしいという。噂の割に具体的な金額も出ていて、2時間のレンタルで5万円。1日で15万円。一週間で100万円・・・買い取りでは1億円だという。しかも不思議なことに、買い取りがすでに何件か出ているのにも関わらず、まだ買い取りもレンタルも行われているというのだ。

ここ学園都市の都市伝説に、常盤台のレールガンのDNAを使った軍事兵器用クロールガンが複数存在するというものがある。今回のレールガンのソレは、コレが使われているのではないかという噂だ。本来、自分のような学生がそんなアングラな噂に首を突っ込むことはないのだが、興味本位からネットで見た、常盤台のレールガンの可愛さに惹かれて、ついレンタルの申し込みをしてしまったのだ。先払いの金額が引き落とされるとその1時間後に、普通の宅配業者

に運ばれて荷物が届いた。

荷物じゃないか・・・。騙されたのかも疑いながら梱包を解いてみると、中にはネットの画像でしか見たことのない常盤台のレールガンとそっくりな少女がくるまれていた。

「お待たせしました。今回はミサカ、ロットナンバー一四〇二八をレンタルして頂きまして誠にありがとうございます。ただいまの時間、ひとはちまるまるを持ちましてレンタル開始とさせて頂きます。と、ミサカは決められた挨拶を言います」  
梱包がとけたところで、ミサカと名乗る少女が常盤台の制服で動きだし、床に三つ指をつけて挨拶をした。

「い・・・いえ、どういたしまして」  
女の子にそんなに耐性のない自分には、自分の部屋に制服の可愛い少女がいると言うだけで新鮮な感動がある。

「ご主人様は何をお望みですか?とまず、ミサカはご主人の希望を確認します。ちなみにミサカは妊娠しないように調整されていま

すので、中に出しても大丈夫ですが、次の貸し出しがありますので、傷を付けたりと治療代が請求されますのでご了承下さいと、ミサカは注意事項を述べます」

「じ・・・じゃあ、まずは口で試してみても、美少女を目の前にして、緊張しながら言うと、彼女は頷いて自分のズボンをおろし、緊張して固くなっていないものを、何のためらいもなく口に含んだ。

「ちゅっちゅば・・・ちゅ・・・ぐちゅ・・・」  
音を立てながら、先端を舌でつつき、裏筋を舌が往復するように這い回り、全体を口に含んで舌でねぶる。

「う・・・気持ちいい」  
「ぐちゅ・・・ちゅば・・・ちゅば・・・」  
黙々と口で奉仕をする彼女が愛おしくなってきた、髪の毛を触る。

「あ・・・」  
髪を触られた彼女が反射的に上目づかいになる。・・・かわいい・・・。そう思うと、我慢できずについ、腰を激しく動かしてしま

う。  
「んっ・・・ぐっ・・・むぐっ・・・げえ・・・

ぐっ・・・んぐっ・・・」

激しく腰が動いてしまったせいで、急に喉の奥まで腰を打ち付けられて彼女が苦しそうな表情をする。

「・・・くっ・・・我慢できない・・・イクッ・・・うううっ」

あまりの刺激の強さに、ついつい我慢できなくなつて彼女の口の中に放出してしまつた。

「・・・ぐっ・・・んぐっ・・・んぐっ・・・んぐっ・・・ちゅぱ・・・ちゅぱ・・・んくっ・・・」

口の中に放出された彼女は、それを飲み込むと、さらにそのまま発射したモノを綺麗に口で掃除してくれた。

「はあはあ・・・ごめん。口に出しちゃつた・・・」

「この独特の臭みと苦みの濃さからして、少なくとも数ヶ月は溜まっていたものとミサカは推測します」

「え？」

「あまり溜めると健康に良くないという噂も聞きますので、適度にミサカをレンタルして抜いて下さいと、ミサカは営業トークを言います」

「あ・・・そんなに溜まってたかな・・・その・・・」

こんな美少女から、溜まつてるとか言う言葉が出てくることにちよつと驚きながら、それを指摘されたことが恥ずかしくて照れてしまふ。

「そんなにというのは具体的ではありませんが、かなりという意味だとミサカは受け取りました」

なんかそっけない女の子だなあと思う・・・こんな仕事してるんだか、させられてるんだから、仕方ないのか・・・

「そしたら、次は・・・そうだな、制服は着たままパンツを脱いでくれ」

「了解しました。と言いつつ、口の中が臭くて苦いので何か飲み物はないのかと、ミサカは水分を要求します」

「あ・・・、えつと・・・」

慌てて冷蔵庫を覗くと、中にはペットボトルの乳酸菌飲料ぐらいしかない。

「じゃあ・・・これを・・・」

洗ったコップに入れて持つて行くとミサカは、それをごくごくと飲み干した。

「白い液体を飲まれた後に白い飲み物かよ。とミサカは嘆息しますが、何もないよりはマシなので一応礼を言っておきます」  
素晴らしいながら、羞恥のかけらもない感じにパンティを脱ぎ捨てる。

・・・この女の子には羞恥という感情はないのだろうか・・・

何とか恥ずかしい表情をさせてみたくなつてきたので、どうしたら恥ずかしがるかを思案してみた。

「よし、そのベランダの窓に手をついて、こつちに腰を突きだしてくれるかな？」

窓から見られるかと思つたら、きつと恥ずかしがるに違いない。そう思いながら、窓に手を突かせると、彼女は表情を全く変えずにその姿勢になつた。

「入れるぞ」

こんな姿勢にしても眉一つ動かさず、無表情な彼女に少しイラ立ちを感じながら、スカートをたくしあげていきなり怒張を押しつける。

「んっ・・・」

濡れてないところにいきなり怒張を突きつ





けられて、痛かったのか、少し息が詰まるよ  
うな声が漏れたが、それでも彼女の表情は変  
わらない。

「この・・・」

少し意地になってきたので、まだ抵抗感の残  
る膣内の奥に無理矢理押し込み続けた。

「あの・・・」

彼女が少し眉間に皺を寄せながら話しかけ  
てきた。

「濡れてないのに入ると、膣内が傷ついて  
治療代を請求される場合がありますが、よろ  
しいですか？と、ミサカは確認を求めます」

「・・・あ・・・」

この子は、こんな状態でもそんなことを言う  
のか・・・

「いいよ・・・ほら」

より嗜虐感が強くなってきたので、窓に彼女  
を押しつけるようにして腰を動かし始める。

「どうだ・・・ほら、お前が後ろからされて  
いるところを見られてるかもしれないんだ  
ぜ・・・なんか言ってみろよ」

少し腰がスムーズに動くようになってきた  
気がするので、濡れてきたのだと思って彼女

の耳元でつぶやく。

「はい、見られてますね。ご近所と思われる  
人数人と目が合いました。ミサカは見られて  
も別に困ることはありませんが、制服を着た  
中学生と性交渉をしていると通報されたら、  
あなたが困るのではないかとミサカは忠告  
します」

「な・・・」

冷静に答える彼女に、苛立ちと嗜虐感を覚え  
てきて、腰を激しく打ち付けながら、ブラウ  
スのボタンを外し、ブラの下から手を入れて、  
まだ未発達の胸を激しく揉みしだく。

「あの・・・女の子は激しくするより優しく  
する方が感じます。その方がお互いに気持ち  
いいのではないかと、ミサカは提案します」

「いやだ」

この冷静な言い方に、少し意地になってきた。  
窓に押しつけたまま、激しく腰を前後動かし  
たり、奥に突き入れたまま、円運動のように  
動かしたりしてひたすら、彼女の反応を見る。

「は・・・はあ・・・はあ・・・」

それを数分繰り返していると、気のせいか、  
少し息づかいが激しくなってきた。

「・・・」

それに勇気を得て、なお、激しく突き続ける  
と、ついに、彼女の口から声が漏れだした。  
「あ・・・はあっ・・・はあ・・・ああっ・・・  
はあっ・・・あ・・・んっ・・・んっ・・・」  
表情こそあまり変化がないようだが、明らか  
に声が変わってきている。

「いいのか？・・・気持ちいいのか？」

その変化に嬉しくなって、ミサカの腰を両手  
で抱え込んで更に激しく前後に腰を動かす。  
「あっ・・・はあっ・・・はあ・・・うっ・・・  
やっ・・・あぐっ・・・はあん」

彼女の吐息に鼻から抜けるように甘い声が  
漏れ始める。

気持ちに少し余裕が出てきたので、スカート  
をたくし上げて、突き入れているところを観  
察する。

「じゅ・・・じゅぶ・・・ぬぶ・・・ぬぶっ・・・  
じゅっ・・・じゅぶ」

自分のモノが出入りするたびに、イヤらしい  
音が響き始める。

「ここはびっしりより、ぐっしりだぞ・・・。  
いいのか？気持ちいいのか？」





ワ  
ウ



SANSTAR  
**Ora<sup>4</sup>**  
キレイを、まいにち。  
STAINLESS



無香料

**LUCIDD**  
ルシーダ  
AFTER SHAVE

「ひいっ……いや……っ……んぐっ……  
ああ……ああん……」

気のせいかな、声まで甘ったるい声に変わってきた気がする。

余裕が出てきたので、ふと外を見てみると、明らかに何人かがこの部屋を見ている。

「ほら、みんなお前の痴態を見てるぞ」

ミサカの耳に舌を入れながらささやく。

「はあ……はあっ……や……ミサカには気持ちいいという感じがよくわかりません……が、これは、そんな感じなんではないか？とミサカは問いかけます」

そんなミサカがとても愛おしくなってきた、洗面所に移動すると、鏡に顔が見えるようにして後ろから、さつきよりは少し優しく腰を動かした。

「あ……はあっ……やっ……ミサカがミサカが……なんか変です」

鏡に映った自分の顔を見て、ちよつと目を背けるミサカ。

「かわいいよ……ミサカ……」

そんな仕草を見ていたら、きゅんとしてきて、腰をついつい深く突き入れてしまう。

「ああ……やっ……やっ……変です。なにか変です。と、ミサカは訴えます」

困惑した表情と、甘い声に視覚と聴覚から刺激され、更に、ぎゅつと締めりながら、モノをしつぽりと包み込んでねつとりと絡みついてくる、ミサカの瞳のあまりに気持ちいい感触の前に、いくら一発抜いたとはいえ、自分のモノはもう限界に近づいていた。

「いい……いくぞ……いくぞ……」

「あ……はあっはあん……ダメ……もう飛んじやうっ……」

「ああああああっ……」

「イクっ……イクっ……イクぞ……」

「あああああああああ」

「あああああああああ」

頭が真っ白になった自分がミサカの中に果てると、ミサカがぐったりと洗面所によりかかった。

「ご利用ありがとうございます。来た時と同じように梱包して、その連絡先に電話して下さい。またのご利用をお待ちしております。とミサカは申し述べて梱包BOXに入ります」

シャワーを浴びて、制服を着直したミサカが三つ指をついて頭を下げた。

「あ……あの……絶対、キミを買うように頑張るから……待っていてくれるかな？」  
そういった自分に、彼女は複雑な表情をして言った。

「ミサカは作り物の身体に、借り物の頭脳。薬品と環境さえあればボタン一つでできる単価にして十八万円の人形に過ぎません……それでも買ってくださいさというのですか？」

その言葉がとても愛おしくて、ミサカを強く抱きしめた。抱きしめられた彼女は、嬉しいような困ったような苦しいような痛いような、そんな複雑な表情だった。

一億円を貯めるなんて無理かもしれない。でも、どんな苦勞をしても彼女のことが欲しい。そう決意したのに、ふと、オリジナルのレーザガンを抱き心地はどうなんだろう？引き取られていく彼女を見ながら、そんなことが頭をよぎるのだった。



あまのこ

あまのこ





卸実野仁

能力制御





あああああ  
あったかい

初春…

百合開花  
アンテシス

飯尾鉄明











ダメ…そんな…  
力が入らない…



うあっ  
うい…春



んあんっ



だめですよ  
踏ん張ったら  
素直が一番です

あっ…  
…初春



佐天さん…  
力を抜いて







あ  
あ

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

!!



く  
り  
ゆ  
ち  
ゆ  
く  
ち  
ゆ  
ち  
ゆ



あ  
あ  
っ  
!!



ん  
く  
っ  
!!

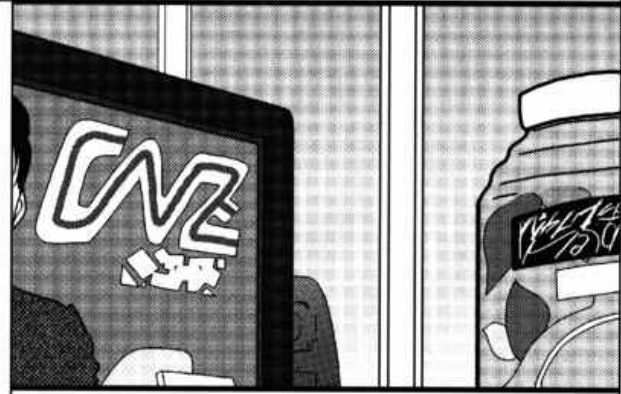


かあゝ...

すううう...

次のニュースです  
座免飲料の  
芝生茶クリームラテに

植物活力剤に  
含まれる薬品が混入  
している事が発覚し  
2万缶を回収することに



品名 芝生茶クリームラテ  
原材料名 天然芝生エキス、  
乳糖、カルシウム、  
鉄、カルシウムイオン  
内容量 380ml  
賞味期限 缶底に  
販売者 西都南京

直ちに人体に  
影響は無いもの  
メーカーは製造した  
穂菜那工場を通じて  
自主回収を...





# あゆがき

今回は黒子の出番がなくて 3作のみで  
本人もさぞ怒っているでしょう

実は私はこの娘が一番好きだったりしますが  
なんか… 孝えてもガッパほくなりすぎて  
エロくなんないんだもの (笑)

け、こうこの作品は好きなキャラが多くて  
2期も決まっているようで  
喜ばしいお祭りです

そんなわけで今回のテーマに選がました  
とある科学の超電磁砲です  
楽しんでいただければ嬉しいです。

飯尾鉄明

2012.12  
飯尾鉄明



毎度おなじみ飯尾鉄明の近況  
昔、ネットで「飯尾鉄明は国川毛絵師だ！」  
という書き込みがありました。  
そして最近、果お絵かき工房で、飯尾鉄明  
にくるりくか「国川毛でお願いします」おねい!!  
これらは国川毛鉄明のりんとおねい!!  
まっとう喜びます。 27おねい。

# 飯尾鉄明本舗謹製



おくづけ

発行者 飯尾鉄明本舗  
責任者 飯尾哲臣  
URL. <http://iiotetsuakihonpo.x.fc2.com/>  
E-mail [galleryeternity@hotmail.com](mailto:galleryeternity@hotmail.com)  
印刷所 (有)ねこのしっぽ  
発行日 2012.12.31 初版発行



